

陳 情	受 理 番 号	3	受 理 年 月 日	令和7年7月28日	付 託 委員会	総 務
件 名	那覇市議会議員選挙の変更について					

みだしの件について、別紙のとおり陳情いたしますので、よろしくお願いいたします。

件 名 那覇市議会議員選挙の変更について（陳情）

陳情の趣旨

- ・ 那覇市議会議員選挙の無駄を省いて欲しい
- ・ 大学、高校と連携した学生の選挙参加意欲を高めて欲しい
- ・ 報酬目当てでなく、流行に流されない議員を議員自ら育てて欲しい

陳情の理由

- ・ 選挙は税金浪費と捉え、徹底的に無駄を省き、社協人材をはじめとした
介護人材育成など福祉利用に税金を配分する必要がある。
- ・ ボランティア活動を那覇市全体で活性化させ、若い力を選挙にも活用し、
未来の那覇市のリーダーを育成する必要がある。
- ・ 今回の那覇市議会議員選挙は、国政選挙マスコミ報道の流行の部分が
強く反映されており、政党政治に囚われない仕組みづくりが急務である。

那覇市議会議員選挙の変更について陳情書詳細

- ・選挙の無駄や、「止めて欲しい事」を市民アンケートで収集して公表して欲しい。
- ・立候補者の選挙ポスターを全面廃止して欲しい。
- ・選挙公報を民間(新聞社)委託して欲しい。
候補者一人当たりの紙面大きさを名刺大に縮小統一し、告示前に候補者が県内紙に直接、掲載依頼して欲しい。全戸配布を止め、新聞社判断で市内公民館等に設置して欲しい。
- ・各候補者の街宣車に関する市税利用を全面停止して欲しい。
- ・選挙事務所費用に関する市税利用の廃止
那覇市役所内議員事務所を活用するなど選挙事務所関連費用を税金から支払わないで欲しい。必要があれば那覇市の公共施設を選挙利用する許可を出して欲しい。
- ・那覇市の税金で行う選挙活動ハガキや印刷物を全面廃止して欲しい。
- ・那覇市の税金で行う選挙啓発活動の全面廃止
選挙啓発活動、テレビコマーシャル関係は全面廃止して欲しい。
「この選挙は投票したくない」という権利を認めて欲しい。
- ・期日前や当日の選挙に関わるアルバイトを廃止
有償の選挙に関する臨時雇用を全面廃止して欲しい。無償ボランティアは OK
- ・高校生・大学生ボランティアの活用
ボランティア証明発行を前提に、各学校長宛てに学生ボランティアの募集をして欲しい。学校長宛てに感謝状発行など学校がボランティア活動を推奨する仕組みも必要。
- ・高校・大学校舎における期日前投票の実施
選挙権のある学生やその職員が投票できるように限定的な期日前投票所を設置して欲しい。ミスや不正が心配される場合は、必要があれば、投票所毎に投票数の上限を設けるなど選挙全体が無効にならないように工夫して欲しい。
- ・那覇市役所の部課単位でボランティア証明書を発行して欲しい
那覇市全体でボランティア活動を推進し、その一方策として課長判断で那覇市ボランティア証明書を発行して欲しい。
- ・投票後に電子クーポンで投票証明書を発行して欲しい
投票後に投票者氏名をデータベース化し、電子申請があれば任意の番号付き電子投票証明書を発行して欲しい。民間や大学等での利用も考慮し、必要時には那覇市発行の任意の番号でホームページから検索できるようにして欲しい。
- ・市内小中校の空き教室等を利用した期間限定投票所の設置
学校周辺住民の投票率向上のため、半日限定など期日を限定した投票所の設置と、投票率を公表して開設時間を調整する等地域ごとに選挙行動を促す仕組みづくりをお願いしたい。

- ・病院・老人ホームにおける投票の義務化

ある程度の規模以上の病院や老人ホームでは患者様が投票できる機会を設けることを義務化（施設判断で施設内投票率を向上させる施策も検討）して欲しい。

- ・投票用紙発行停止手続きの簡素化と広報

投票率向上のため、認知症等の病気やその他理由で自らの判断で投票できない方の選挙権を選挙毎に家族が投票権発行停止手続きできるようにして欲しい。

- ・マイナポータルを利用した那覇市届出システムにオンライン投票を導入

現在のオンライン申請ができる仕組みを利用して、立候補者の氏名を入力する方法で安価にオンライン投票できる仕組みを構築して欲しい。多くの不正が予想されるが、特定端末からの投票は一度限りとする等、不正を一定程度に抑える仕組みを随時検討し実施願いたい。摘発など那覇署の協力も仰いで欲しい。

- ・若者（18歳～22歳）に限りオンライン投票と通常の一般投票で2票有効とする。

若者に選挙に親しんで欲しいために、年齢を限定して、特例を設けて欲しい。

- ・選挙結果を基に、投票した100名、投票しなかった100名限定で、その理由を

アンケート調査して欲しい。オンライン回答に限定すると安価に実現できるが、投票しなかった人の意見も収集して改善に役立てて欲しい。

- ・議員報酬(一般的な基本給)を現在の半額にし、家族手当、住宅手当、研修手当、出張手当等を充実させて欲しい

- ・議員も市役所で勤務した時間を計測し、それに見合う報酬に変化させて欲しい

- ・那覇市議会議員選挙に立候補できる年齢制限、又は、回数制限を設けて欲しい

- ・那覇市議会議員選挙の即日開票を止めて、職員の勤務時間内に開票して欲しい。

- ・PTA等ボランティア団体から特定候補者を推薦する事を推奨して欲しい

地域活動に関わった経歴を市民が把握できるように、自治会やPTA等、選挙に関わる事がタブー視されている団体も特定候補者を推薦でき、候補者がそれを広報できるようにして欲しい。

- ・那覇市の議会広報紙に議員自身が投稿できるようにして広報に役立てて欲しい。

日々の議会活動を地域住民に知らせるためのツールとして欲しいが、オンラインによる広報が可能となるように那覇市のホームページやLINEを活用させて欲しい。紙の広報誌は全戸配布を止め、読みたい人が読めるように、また、広報したい議員が自ら配布できるようにして欲しい。

- ・議員自身が活動の魅力を発信し、未来の議員候補を育成し、議員不足が問題化している市長村を支援する仕組みを実施して欲しい。

以上、ご検討宜しく申し上げます。那覇市議会から国政を変えて下さい。